

概要

現代の環境問題は我々の日々の生活、経済活動の結果として生じたものであり、従来からの公害問題から地球規模の環境問題に至るまで多岐にわたっています。このように環境問題は、市民ひとりひとりが自分の問題として考えなければならない重要な問題です。

この講義では、具体的な環境問題の現状を念頭におきながら、経済学的視点から理論的かつ政策的なアプローチを試みます。まず、経済学において「環境」がどのように捉えられているのかを分かりやすく解説し、次に問題解決のための政策手段、環境と開発、環境評価と経済・統合勘定といったテーマを取上げます。本講義では、環境問題の現状を把握し、持続可能な社会を実現するためにわれわれは何をなすべきかについて考え、その答えを自ら求め、それを実践していくための情報を提供します。

進め方

資料を配布します。また、VTR、インターネット、漫画、エコロジーテストなどを教材として使用します。なお、理解度を把握するため、随時小テストを実施します。

系統的履修科目

マクロ・ミクロ経済学入門、公共経済学、環境論

参考文献

植田和弘・岡敏弘・新澤秀則編著「環境政策の経済学」日本評論社 1998 年

赤堀健一「地球環境と環境経済学」成分堂 1999 年

植田和弘・落合仁司・北畠能房・寺西俊一著「環境経済学」有斐閣ブックス 2000 年

諸富徹「環境税の理論と実際」有斐閣 2000 年

C.D. コルスタット著、細江守紀編訳「環境経済学」有斐閣 2001 年

試験と成績評価

小テストと学期末試験で総合的に評価します。なお、講義中ビデオなどの感想文を提出した場合、αの点数を加算します。

担当者から一言

本講義では、「積極的な授業参加」と「考える」を基本として、授業を進めますので、環境問題に関心を持ち、積極的に授業に参加し、自分の考えを発表する意思がある学生を歓迎します。なお、講義中、迷惑行為（私語・携帯電話の雑音、教室の出入りなど）をする場合、退室を命じます。

講義計画

	講義テーマ	概要（キーワード）
1	ガイダンス	
2~4	環境の定義と環境問題	環境の定義、公害、地球環境問題
5~6	経済学と環境問題	経済学、環境経済学、エコロジー経済学、資源経済学
7~9	環境倫理と厚生経済学	環境倫理学、厚生経済学、パレート基準、社会厚生基準
10~12	基礎概念	効率性と市場、外部性、市場の失敗
13~14	環境政策Ⅰ	環境政策の目標・手段・主体
15~18	環境政策Ⅱ	直接規制、ピグー税、経済的手段、排出許可証取引
19~20	環境政策のフロンティア	技術革新、費用負担、環境リスク管理
21~22	環境と開発の経済学	開発の費用と便益、世代間・地域間衡平性
23~24	環境価値とその評価手法	代替法、ヘドニック法、トラベルコスト法、仮想的市場評価法
25-26	持続可能な発展と環境経済統合勘定	持続可能な発展、環境経済統合勘定